

心友

第28号

身体障害者療護施設

「ニューライフ君田」

広島県三次市君田町東入君 357-1

TEL 0824-53-2080



福祉改革の行くすえ

施設長 梶原 進

黒土のいぶきにも春を感じられる候となりました。

平素は皆様方には、なにかと温かいご支援、ご協力を賜り心から厚くお礼を申し上げます。

さて、雪解けと共に、福祉改革にも改革のグランドデザイン案及び自立支援給付法案の輪郭が次第に明らかになってきました。

福祉制度改革は、私共の現場からみて、あまりにも急速すぎて、制度の根幹に関わることもどんどん変化して、持続性のない施策に、毎日が新しい対応となっておりませう。

しかも先が読めない、みえてこない不透明な状況であって、不安は募るばかりであります。

地方分権化された地方自治体も、福祉に対してどんな考えをもっているか要望はどのようなものか、全然読み取れない状況であります。

先達っても、市当局の十七年度の福祉予算の内示があり、一抛に予算が半分削減されたとの報告を受け、急遽担当職員を一人にし引上げを行った。

この事は、昨年度より市町村障害者生活支援事業を、義務的経費から一般財源化されたが、早くも懸念されたことが現実のものとなった。

今後の障害保健施策について、障害者地域生活支援事業が総合的な、自立支援システムの構築を目指す大きな柱となっているが、にもかかわらず市町村は背に腹は替えられないとばかり切捨てともうけとれる削減を行った。

このように地方分権が今日の政治の流れであるといっても、障害者が苦しみ、不安を持ちたりしないような改革を進めてほしいものと思います。

毎日のように茶の間で見るニュースも、暗い世情、事件ばかりがしつこく放映されています。

もう少し明るく心にしみるニュースソースを出してほしいものであります。

パソコン寄贈

読売新聞 大阪本社様より、二月に「名士名流作品展」チャリティの収益金をもって、君田作業所にパソコンを一台御寄贈頂きました。

日常の作業や、生活に活用させていただきます。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

家族会便り

家族会 渡辺 積

家族会本部局より原稿の依頼がありました。しばらく文章を書くという機会がありませんでしたのでさて何を書いたらいいものかと考えましたが、思いつくまま筆を執りました。

現在授産施設に親戚の者が入所し、関係者の皆様に大変お世話様に成っております。家族を亡くし一人住いをしており、体も不自由な中で私もどうしたものかと苦慮しておりましたが、ケアハウスにお世話になり、その上授産施設で軽作業に従事する事が出来るという当人にとってこの上ない環境の中で生活を送れる事が出来、共々感激している所です。

彼には兄が一人おりましたが、若くして病で亡くなり両親もすでに亡く、その上不遇にも交通事故で不自由な体に成りました。三年前の年の瀬も押し迫った深夜の電話、何事だろうと電話を取ると中央病院ですがとの声、交通事故で搬送されたとの事、妻と駆けつけて見ると下肢複雑骨折、その年の春母親を亡くし、今度は自身が交通事故、後遺症が残る中で

今迄の生活に関し不安をかかえる事と成りました。その様な中、各方面の皆様のお陰でケアハウス、授産施設に入所する事が出来現在に至っております。私も以前交通事故関係の仕事に携わる機会があり、事故処理の過程に於いて後遺症が発生した場合の受入れ施設の困難さも経験していましたが、彼の場合、幸いに近くに充実した施設があり幸運だったと思っております。

私の職場の方が地元で地域の空き家を改築し、デイサービス施設を立ち上げ運営されております。月2回程度の開館ですが、地域の皆さんのボランティアで支えておられる様です。高齢化社会を迎え在宅介護をされておられる方も多くいらっしゃると思いますが、少しでもお手伝いが出来ればと始められたそうです。

団塊の世代の私もいずれはやって来る現実にも少しも関心を持って地域の皆さんと共に知恵を出し合いより良い生活環境が得られる様努力したいと思えます。施設のスタッフの皆様には大変お世話に成る事が多いと存じますが、今後共宜敷くお願い致します。

通所

通所では、毎日のリハビリの一環として
取り組んでおられる作品作りを今回、ご紹介します。



園芸療法の一環として、昨年の暮れにパンジーの種とチューリップの球根を通所の花壇に植えました。元気な芽が出て、ひとつひとつ苗を丁寧に植えかえられ、綺麗な花が早く咲くように心待ちにされて、毎日眺めておられます。

園芸療法は私達の心を癒します。

1000ピースのパズルに現在取り組み挑戦され、2ヶ月をかけ完成しました。第二段として、次の新しいパズルに取り組みられています。

ただいま、悪戦苦闘されています。夏になる頃には出来るかな・・・？



作業所

2月下旬、作業所の食堂に新しいパソコンが一台設置されました。今の所、ガラス工芸の作業で使われることが多いのですが、休憩中は、ゲームをしたり、パソコンの使い方を教わったりと、どんどん利用者の人達に活用してもらいたいと思っています。



クリスマス忘年会



通所の皆さんによるハンドベル演奏♪



石原地区
子供神楽の皆さん



石原地区
素人神楽の皆さん

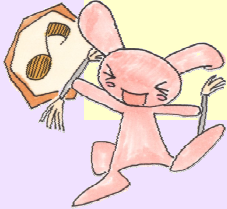


おや?
どこかで見た頼光さま



今年の司会はこのおふたり

ご存じマツケンサンバ
&
ゴリエちゃん



皆様おつかれさまでした



二人羽織で奮戦中！



家族会 大前様の凛々しい舞姿



プチナース



つめはくせん
爪白癬

(爪の水虫)

「近ごろ何だか爪がにごってきて：」
「足の爪が分厚くなって靴下が破れちゃった：」そんな爪で悩んでいませんか？恥ずかしくて人前ではそんな爪を隠しながらも、「年のせいだから仕方がない」とあきらめてる人も多いはず。でも、これは、「爪白癬（爪の水虫）」という爪の病気によるものかもしれないのです。「爪白癬」は、カビの仲間である白癬菌が爪に住み着いて起こる感染症で、爪の病気では一番多く見られるものです。放っておくと体の他の部位、さらに家族や身近な人に水虫をうつしてしまう恐れがあります。でも、きちんと治療を続ければ確実に治る病気です。あきらめないで、あなたのきれいな爪を取り戻しましょう。

放っておくとどうなるの？

☆ 爪白癬の爪は、水虫の感染源

「爪は痛くもかゆくもないんだから、見た目さえ気にしなければ放っておい

てもいいんじゃないの？」そんなふう
に考えていませんか？

ここで忘れてはいけないのが、白癬菌は感染症であるということ。あなたの爪の中に白癬菌というカビの仲間が住み着いているのです。白癬菌は爪を栄養にして生き続けるので、治療しないで放っておくと、絶えずそこから白癬菌がばらまかれ、自分自身の体の他の部位へ水虫が移ったり、さらには子供も含めて家族や身近な人へ水虫を移してしまふ恐れがあるのです。

自分の爪の様子を見て、「もしかして、これは爪白癬かも：」と思った人は、まず皮膚科を受診してみましよう。



症例の、あくまで一部です

温かいお心を

ありがとうございます

きかん坊 様

N T T O B 会 様

星埜 いち江 様

戸田 豊秋 様

小野 巖 様

田中 徳司 様

大前 邦民 様

石原地区素人神楽 様

石原地区子供神楽 様

読売新聞大阪本社 様

編集後記

花粉症の季節到来。今年は、例年以上に花粉が飛散するとか・・・。暖かい日が続くのはとてもありがたいことですが、それとともにくしゃみの数も増えてきそうです。